

科目名	ファッションビジネス理論と演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションプロデュース学科	期	通年
コース	ファッションプロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	新家章秀

**【科目の到達目標】**

前期は、ブランドリーダーの視点でアパレルの各業務を知り改善する力をつけ、前期の目標として成果プレゼンテーションを行う「(仮)アパレル各業務改善の推進案」、後期については、前期に学んだアパレルの業務改善を軸にして、利益構造が構築した新しいファッションビジネスが提案できる力を習得。成果プレゼンのテーマは「(仮)利益を出す新ファッションビジネス提案」

**【科目の概要】**

アパレル業界で仕事をしてリーダーになれば、その部門の業務改善を行う力が必要となります。また、ブランドリーダーになれば、利益構造を構築する力を習得しブランド事業を推進することが重要です。1年間の授業で、業務を改善する力と利益構造を構築する力をつけて、将来のブランドリーダーを目指す人材を育成します。

**【授業計画 前期**

90分/コマ

**後期**

1	・生販バランス（売上と仕入れ）	31	・商品のコスト（原価率）
2	演習	32	演習
3	・消化率と換金率を上げる	33	・店舗の利益構造を知る
4	演習	34	演習
5	・MD部門の業務改善	35	・変動費と固定費の違い
6	演習	36	演習
7	・商品開発部門の業務改善	37	・アパレル会社の利益構造を知る
8	演習	38	演習
9	・生産部門の業務改善	39	・売上と経費、粗利と経費バランス
10	演習	40	演習
11	・物流部門の業務改善	41	・管理会計とは何か・その目的
12	演習	42	演習
13	・販売促進部門（宣伝・PR）の業務改善	43	・フランチャイズと直営店の運営の違い
14	演習	44	演習
15	・店舗開発部門の業務改善	45	・分析指標（商品版ROI、SKU稼働率など）
16	演習	46	演習
17	・店舗運営部の業務改善	47	・他業種の利益構造との違いを知る
18	演習	48	演習
19	・店長会議を組み立てる	49	・ファッションと他業種とのコラボ事業
20	演習	50	演習
21	・経営企画部門の仕事とは、	51	・アパレル業界の海外進出について
22	演習	52	演習
23	・各部門の業務改善PJTの推進	53	・リスク管理について
24	演習	54	演習
25	プレゼンテーション1日目	55	プレゼンテーション1日目
26		56	
27	プレゼンテーション2日目	57	プレゼンテーション2日目
28		58	
29	フィードバック	59	フィードバック
30		60	

**【成績評価方法】**

プレゼンテスト50%、提供課題40%、授業態度10%

**【教科書・参考書】**

プリントを配布

**【教材・教具】**

プリントを配布

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	60	作成者	佐山 孝典
【科目の到達目標】			
ファッションビジネスに即したアパレル製品のデザインと企画力を講義と演習により修得する。 また、任意に想定したアパレル企業に向けた商品の企画提案書類が作成できる。			
【科目の概要】			
現在のアパレル市場を意識したマーケティング及びビジネス的視点で企画立案しデザインする。また、既存の企業、市場を対象にした商品デザインを企画書類にまとめプレゼンテーション発表する。			
【授業計画】 90分/コマ	前期	後期	
	1 アパレル市場の現状	16	ガイダンス
	2 ファッションの8感性とデザイン	17	ファッション製品の基礎知識5
	3 年代別マップ作成	18	ファッション製品の基礎知識6
	4 年代別マップ作成	19	ファッション製品の基礎知識7
	5 ファッション製品の基礎知識1	20	ファッション製品の基礎知識8
	6 ファッション製品の基礎知識2	21	企業リサーチ
	7 ファッション製品の基礎知識3	22	企業リサーチ
	8 ファッション製品の基礎知識4	23	商品企画書 作成
	9 商品企画書 作成	24	ブランド企画書 作成
	10	25	
	11	26	
	12	27	
	13 商品企画書 作成	28	ブランド企画書 作成
	14 企画発表 プレゼンテーション	29	企画発表 プレゼンテーション
	15 前期試験	30	後期試験
【成績評価方法】			
出席率10% 課題30% 試験60%			
【教科書・参考書】			
『スタイリングブック』グラフィック社 その他、ファッション雑誌など			
【教材・教具】			
筆記用具 コンピュータ 描画用具 ケント紙 ペン マーカー 配布レジュメ 画像投影用大型TVモニター			

科目名	服飾実習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	180	作成者	上田久美子

**【科目の到達目標】**

理論を技術に結びつける。

デザイン画をみてパターンから縫製まで製作できる技術を身につける。

**【科目の概要】**

ファッション業界において、商品企画をするために洋服の構造を理解することは必要不可欠である。

企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識への理解を深める。

**【授業計画】**

90分/コマ

前期		後期	
1,2,3	襟のバリエーションドレーピング	46,47,48	カットソーの製図、縫製
4,5,6	襟のバリエーションドレーピング	49,50,51	カットソーの縫製
7,8,9	ショールカラー製図・トワール組 ステンカラー製図・トワール組	52,53,54	上田学園コレクション作品
10,11,12	テーラードジャケットの製図・縫い代つけ	55,56,57	上田学園コレクション作品
13,14,15	テーラードジャケットのトワール組	58,59,60	上田学園コレクション作品
16,17,18	部分縫い ・箱ポケット	61,62,63	上田学園コレクション作品
19,20,21	部分縫い ・雨蓋ポケット	64,65,66	上田学園コレクション作品
22,23,24	テーラードジャケットの縫製	67,68,69	上田学園コレクション作品
25,26,27	テーラードジャケットの縫製	70,71,72	上田学園コレクション作品
28,29,30	テーラードジャケットの縫製	73,74,75	上田学園コレクション作品
31,32,33	テーラードジャケットの縫製	76,77,78	上田学園コレクション作品
34,35,36	テーラードジャケットの縫製	79,80,81	上田学園コレクション作品
37,38,39	テーラードジャケットの縫製	82,83,84	上田学園コレクション作品
40,41,42	テーラードジャケットの縫製	85,86,87	上田学園コレクション作品
43,44,45	まとめ・テスト	88,89,90	まとめ・プレゼン

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『テーラリングテクニック』・『ジャケット』上田安子服飾専門学校 最新版

**【教材・教具】**

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式

科目名	コンピュータ演習Ⅱ [A] オフィス系	整理番号		
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年	
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間	
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%	
時間数	60	作成者	鶴 鉄雄	
<b>【科目の到達目標】</b>				
実務やプレゼンで使えるオフィス系アプリ（Word、Excel、Google App）の実践的スキルを習得する				
<b>【科目の概要】</b>				
オフィス系アプリ（Word、Excel、Google App）のやや高度な関数やデータ分析編集操作によるデータ作成				
<b>【授業計画】</b> 90分/コマ		前期	後期	
1	ガイダンス、操作スキルチェック	16	Word 応用操作	
2	Excel応用操作	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイルを作成</li> <li>・索引を作成する、管理</li> <li>・参考資料を作成する、管理</li> <li>・フォーム、フィールド、差し込み印刷を管理</li> <li>・文書パーツ、マクロ、コントロールを作成する、変更</li> <li>・ユーザー設定のスタイルセットとテンプレートを作成</li> <li>・ほかの言語やユーザー補助機能に対応した文書</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ブックのオプションと設定の管理</li> <li>*ユーザー定義の表示形式やレイアウトの適用</li> </ul>	18		
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*高度な機能を使用した数式の作成</li> <li>*高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成</li> </ul>	19		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックの管理と校閲</li> <li>・ユーザー定義の表示形式と入力規則の適用</li> </ul>	20		
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数式に関数を適用</li> <li>・関数を使用してのデータ検索</li> </ul>	21		
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前付き範囲とオブジェクトの定義</li> <li>・高度な機能を使用したブラフ作成</li> </ul>	22		
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピボットテーブルの作成と管理</li> <li>・ピボットグラフの作成と管理</li> </ul>	23		
9		24		Googleアプリケーションの応用 <ul style="list-style-type: none"> <li>*スマホによるアンケートの設計（Googleドキュメント）</li> <li>*アンケートフォーム作成（Googleフォーム）</li> <li>*SNSによるアンケートの実施（QRコード）</li> <li>*アンケートの集計（Googleスプレッドシート）</li> <li>*ピボットテーブル分析（Googleスプレッドシート）</li> <li>*分析結果の文章化（Googleドキュメント）</li> <li>*発表資料作成（Googleプレゼンテーション）</li> </ul>
10		25		
11	Word 応用操作	26		
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>*文書のオプションと設定の管理</li> <li>*高度な機能を使用した文書のデザイン</li> <li>*高度な機能を使用した参考資料の作成</li> </ul>	27		
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ユーザー設定の Word 要素の作成</li> <li>・文書とテンプレートを管理する</li> </ul>	28		
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校閲用に文書を準備する</li> <li>・文書の変更を管理する</li> </ul>	29		
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な編集や書式設定を行う</li> </ul>	30		
			プレゼンテーション	
			テスト	
			まとめ	
<b>【成績評価方法】</b>				
提出物評価60% テスト30% 授業態度10% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。				
<b>【教科書・参考書】</b>				
PDFを配布				
<b>【教材・教具】</b>				
パソコン、スマートフォン				

科目名	PC演習Ⅱ-B	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	長崎隼人

【科目の到達目標】

アパレル業界において必要となるIllustrator、Photoshopの基礎技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

Illustrator、Photoshopを活用し、実践的な資料作成の技術を学ぶ。□

【授業計画】

90分/コマ

前期		後期	
1	Illustrator復習	16	デザイン制作1 名刺
2	Photoshop復習	17	デザイン制作1 名刺
3	Illustrator応用 塗り・線	18	デザイン制作2 名刺
4	Illustrator応用 塗り・線	19	デザイン制作2 名刺
5	Illustrator応用 パス	20	デザイン制作3 DM
6	Illustrator応用 パス	21	デザイン制作3 DM
7	Photoshop応用 画像加工	22	デザイン制作4 DM
8	Photoshop応用 画像加工	23	デザイン制作4 DM
9	Photoshop応用 レタッチ	24	デザイン制作5 プロモーション資料
10	Photoshop応用 レタッチ	25	デザイン制作5 プロモーション資料
11	Photoshop応用 切り抜き	26	デザイン制作6 プロモーション資料
12	Photoshop応用 切り抜き	27	デザイン制作6 プロモーション資料
13	Photoshop応用 合成	28	デザイン制作7 プロモーション資料
14	Photoshop応用 合成	29	デザイン制作7 プロモーション資料
15	まとめ・テスト	30	まとめ・テスト

【成績評価方法】

課題提出(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%  
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教材:プリントやデータで配布  
準備物:筆記用具

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	河本 育子

**【授業の到達目標】**

アパレル商品の企画・生産・取扱いに必要な、素材の専門知識を持つ人材の育成を目指す。  
アパレル素材の役割を理解し、繊維の専門知識を深める。

**【授業概要】**

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。  
講義を通じて繊維の機能性、加工による付加価値について理解。さらに布地構造による基本特性を修得する。  
アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。

**【授業計画】** 90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 繊維の種類 繊維の長さ、太さ  
糸・生地の種類(織物・編物)について
- 3 繊維の種類と特性
- 4 天然繊維・植物繊維(1)綿
- 5 天然繊維・動物繊維(1)毛
- 6 天然繊維・動物繊維(2)絹
- 7 化学繊維(1)再生繊維
- 8 化学繊維(2)半合成繊維
- 9 化学繊維(3)合成繊維
- 10 繊維に求められる機能と着心地  
(生地の加工・機能性について)
- 11 織物の代表的な組織とその特徴
- 12 編物の代表的な組織とその特徴
- 13 編物の代表的な組織とその特徴
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

**【成績評価方法】**

課題提出物 60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年  
・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	キャリアデザインI	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 50% 実習・演習 50%
時間数	30	作成者	今 恒男

**【科目の到達目標】**

一人ひとりが自分の将来の目標を具体的に考え、そこに到達するために今後どのような努力をするべきか、実現を想定したプロセスと起こすべきアクションを考えられるようになる。

**【科目の概要】**

将来の夢をかなえるには、具体的な将来のイメージを描くこと、客観的な自分理解が必要です。今の自分に足りないものを身につけ、強みを磨くことで「夢」を現実的な「目標」に変えることが出来るからです。本教科では様々なワークシートや演習を用い、自己理解を深め、一人ひとりが自分のキャリアデザインを考えます。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 ・キャリアデザインとは  
キャリアに対する考え方とは、基本マナーの習得、適性検査受検
- 2 ・自分を知る①  
現在の自分の状態を知る
- 3 ・自分を知る②  
過去を振り返り、積み重ねてきた経験と気持ちの変化を確認する
- 4 ・自分を知る③  
過去を振り返り、自分自身の興味や関心のきっかけを探る
- 5 ・自分を知る④ ～まとめ～  
自分自身の情報を整理し、アピールすべき自分の特徴を抽出する
- 6 ・将来イメージを持つ  
既に成功している先輩が通った道を追体験し、参考にする
- 7 ・仕事の種類を知る  
FB業界にはどのような仕事が存在するのか、職種名ではなく仕事の内容で考える
- 8 ・将来像を描く①  
自分は何のために働くのか、働く目的を考える
- 9 ・将来像を描く②  
仕事の拡がりを考える
- 10 ・将来像を描く③  
自分の将来像について、イメージマップを作成する
- 11 ・先輩のキャリアを調べる①  
業界で活躍する先輩のキャリアについて具体的に調べる
- 12 ・先輩のキャリアを調べる②  
業界で活躍する先輩のキャリアについて具体的に調べる
- 13 ・先輩のキャリアを調べる③  
調べた内容について各グループで発表する
- 14 ・メンバーへのフィードバック  
グループのメンバーへフィードバックを行い、自己理解の気づきを促す
- 15 ・行動計画を立てる  
これからの目標と、そのために必要となる課題を明確にした計画を立てる

**【成績評価方法】**

- ◎課題・提出物 50%
- ◎試験（修業試験、確認テスト） 20%
- ◎授業態度 30%

**【教科書・参考書】**

『自分で「考え」、自分で「動く」 キャリアテキスト』 株式会社パーソナルヴィジョン研究所・著

**【教材・教具】**

各種ワークシート

科目名	経営分析	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	上田久美子

**【科目の到達目標】**

貸借対照表と損益計算書が読めるようになり、財務諸表分析を行えるようになる。  
簿記3級レベルの修得。

**【科目の概要】**

資産・負債・純資産・収益・費用の5要素の関係が理解できる。  
貸借対照表、損益計算書を読むときのポイントをつかむ。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 財務諸表分析とは
- 2 貸借対照表とは
- 3 資産・負債・純資産
- 4 損益計算書とは
- 5 収益・費用
- 6 売上原価・資本金
- 7 単式簿記
- 8 単式簿記
- 9 複式簿記
- 10 複式簿記
- 11 決算書
- 12 貸借対照表
- 13 損益計算書
- 14 まとめ
- 15 テスト

**【成績評価方法】**

平常点(授業態度)10% 理解力(小テスト,総合テスト)50% 提出物40%  
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**

・柴山政行『いちばんわかりやすいはじめての簿記入門』成美堂出版2019年  
・小沢浩『簿記がわかってしまう魔法の書』日本実業出版社2019年□

**【教材・教具】**

筆記用具・配布プリント



科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	河本 育子

**【授業の到達目標】**

アパレル商品の企画・生産・取扱いに必要な、素材の専門知識を持つ人材の育成を目指す。  
アパレル素材の役割を理解し、繊維の専門知識を深める。

**【授業概要】**

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。  
講義を通じて繊維の機能性、加工による付加価値について理解。さらに布地構造による基本特性を修得する。  
アパレル商品取り扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深める。

**【授業計画】** 90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 繊維の種類 繊維の長さ、太さ  
糸・生地の種類(織物・編物)について
- 3 繊維の種類と特性
- 4 天然繊維・植物繊維(1)綿
- 5 天然繊維・動物繊維(1)毛
- 6 天然繊維・動物繊維(2)絹
- 7 化学繊維(1)再生繊維
- 8 化学繊維(2)半合成繊維
- 9 化学繊維(3)合成繊維
- 10 繊維に求められる機能と着心地  
(生地の加工・機能性について)
- 11 織物の代表的な組織とその特徴
- 12 編物の代表的な組織とその特徴
- 13 編物の代表的な組織とその特徴
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

**【成績評価方法】**

課題提出物 60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	服飾素材論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	河本 育子

**【授業の到達目標】**

クリエイター、マーチャンダイザーには素材の知識と、それらを商品企画に組み立てる能力が必要である。素材流通の動向が社会情勢などに関連していることを理解し、情報をもとに素材の組み立て(商品企画)ができるようになることを目標とする。

**【授業概要】**

変化するマーケットやチャネルに伴い、モノ作りもグローバル、ダイバーシティへの対応を余儀なくされている。素材の本質は変わらないまでも、それに対応できる専門知識と応用できる能力が必要。この授業では、講義により素材の専門知識を深め、市場動向を踏まえた素材の組み立て(商品企画)を実践していく。

**【授業計画】**

- 90分/コマ
- 1 オリエンテーション
  - 2 ファッショントレンドと素材・アパレル製品の流通経路
  - 3 1.トレンド分析
  - 4 感性分類
  - 5 素材感・風合いの分類
  - 6 トレンド背景と素材イメージ
  - 7 2.ファッションディレクションを作成
  - 8 トレンドのテーマとコンセプト設定
  - 9 トレンド分析のビジュアル化
  - 10 イメージマップ作成
  - 11 素材・デザインに落とし込む
  - 12 (マップ作成)
  - 13 (マップ作成)
  - 14 3.プレゼンテーション
  - 15 ↓
  - ↓

**【成績評価方法】**

課題提出物 80% 授業態度20%

**【教科書・参考書】**

・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年  
 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	英語Ⅱ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	佐藤紫乃
<b>【科目の到達目標】</b>			
簡単な言葉を用いて英語でコミュニケーションをとることに慣れ、臆せず自分の意思を伝える力を鍛えるべく、日常会話をベースにファッション用語や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる生きた英語を習得する。			
<b>【科目の概要】</b>			
日常会話を中心に英語でコミュニケーションをとる。ファッション関連の語句や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる会話などを習得する。書き取り、音読、暗誦、ロールプレイを使用する。			
<b>【授業計画】</b> 90分/コマ		前期	後期
1.	挨拶 : 初対面/日常の挨拶いろいろ	16	前期のおさらい・確認
2.	・紹介のしかた ・天候、体調を語る	17	ファッションとショッピング
		18	五感動詞
3.	数字、数量、時間に関する表現	19	日常会話（応用編）1
4.	ファッション販売の英単語・フレーズ	20	日常会話（応用編）2
5.	レストランにて/ディナーの席で	21	日常会話（応用編）3
6.	エアポート・ホテルなど観光英会話	22	その他使える動詞
7.	英会話に必要な基本の文法1	23	日常会話（キャリア編）
8.	英会話に必要な基本の文法2	24	英文メール（手紙）の基本
9.	NY研修で行う質問の練習	25	英会話に必要な基本の文法3
10.	道案内で使う英会話	26	ファッションとテキスタイル
11.	基本動詞（Have/Get/Make/Take）	27	英語のファッションECサイトや雑誌
12.	基本動詞（Give/Come/Go/Work）	28	映画鑑賞とレポート
13.	基本動詞（Put/Keep/Run/Turn）	29	これまでの復習・テスト対策
14.	これまでの復習 / 期末テスト対策	30	期末テスト
15.	期末テスト / おすすめの教材の紹介		
<b>【成績評価方法】</b>			
提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%			
<b>【教科書・参考書】</b>			
自作のパワーポイントスライドとプリント			
<b>【教材・教具】</b>			
筆記用具			

科目名	産業論	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	30	作成者	橋本沙也加
<b>【科目の到達目標】</b>			
<p>ブランドや商品などをクリエイションするための手法の基礎を、講義や実習を通して複合的に学び、デザインアイデアの源泉からプロダクトアウトまでを、一貫した流れで構築する力を身に着ける。 海外でも実践される新たな学習スタイルを取り入れながら、デザインクリエイションについて学ぶことができる。</p>			
<b>【科目の概要】</b>			
<p>クリエイションの種になる思考法やマーケティング手法を吸収し、学びの過程で各学生が掲げるテーマを実習によってアウトプットすることで手法の定着化を図る。最終的には、総合的なクリエイションの知識・企画技術を動員してオリジナルのファッションブランドの企画書を構築することを目指す。□</p>			
<b>【授業計画】</b>			
90分/コマ			
1	後期の進め方・オリエンテーション 日本産業の変遷と働き方の変化		
2	思考法6 講義：デザインシンキング グラフィックレコーディングの活用方法		
3	実習： デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画のカグラフィックレコーディング作成		
4	思考法7 講義：デザインシンキング ビジネスモデルキャンパスの活用		
5	実習： デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画のビジネスキャンパスの作成		
6	思考法8 講義：デザインシンキング カスタマージャーニー		
7	実習： カスタマージャーニーマップ作成		
8	実習： カスタマージャーニーマップ作成・発表		
9	実習： カスタマージャーニーマップ発表		
10	革製品の商品提案から ブランド戦略		
11	講義：資料作成「分かりやすいスライドの作り方」		
12	産地・商品等のリサーチ（課題はペルソナ調査）		
13	全体の資料作成		
14	発表		
15	発表		
テスト&補講週間			
<b>【成績評価方法】</b>			
提出物の評価 40%、 期末試験、発表、参加度 45% 授業出席 15%			
<b>【教科書・参考書】</b>			
プリントや授業テキストデータを配布			
<b>【教材・教具】</b>			
PC、専用のノート、ファイル			

科目名	ロジカルシンキング	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	30	作成者	橋本沙也加
<b>【科目の到達目標】</b>			
<p>ブランドや商品などをクリエイションするための手法の基礎を、講義や実習を通して複合的に学び、デザインアイデアの源泉からプロダクトアウトまでを、一貫した流れで構築する力を身に着ける。 海外でも実践される新たな学習スタイルを取り入れながら、デザインクリエイションについて学ぶことができる。</p>			
<b>【科目の概要】</b>			
<p>クリエイションの種になる思考法やマーケティング手法を吸収し、学びの過程で各学生が掲げるテーマを実習によってアウトプットすることで手法の定着化を図る。最終的には、総合的なクリエイションの知識・企画技術を動員してオリジナルのファッションブランドの企画書を構築することを目指す。□</p>			
<b>【授業計画】</b>			
90分/コマ			
1	オリエンテーション	講義：現状の社会を理解する	
2	講義：私たちに、これから必要とされる物事を創造するために必要とされる手法		
3	自己分析1	講義：自己分析の重要性とその客観的分析手法	
4	演習：マインドフルネスシート作成		
5	演習：マインドフルネスシート作成 続き・発表		
6	思考法1	講義：デザインシンキングとロジカルシンキングの概要と活用方法	
7	実習：デザインシンキング手法を活かしたファッションデザイン		
8	思考法2	講義：ターゲティングの重要性とペルソナ設定 制限性と発展性について	
9	演習：デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画にペルソナを設定しよう		
10	思考法3	講義：デザインシンキング コンセプト設計	
11	実習：デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画のコンセプト作成		
12	思考法4	講義：デザインシンキング プロトタイピングの活用方法 基本型	
13	実習：デザインシンキングで深めたファッションデザイン企画のプロトタイプ作成 初段階		
14	全体の資料作成		
15	発表		
16	予備日		
<b>【成績評価方法】</b>			
提出物の評価	40%	期末試験、発表、参加度	45%
		授業出席	15%
<b>【教科書・参考書】</b>			
プリントや授業テキストデータを配布			
<b>【教材・教具】</b>			
PC、専用のノート、ファイル			

科目名	美術史・デザイン史		
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70 % 実習 30 %
時間数	30	作成者	高木 義隆

**【科目の到達目標】**  
 現在のファッションを成立させてきた西洋文化の美術やデザインの歴史的背景と動向を理解し、ファッションデザインの意味を多様な視点で読み解く基礎知識を習得する。

**【科目の概要】**  
 服飾文化は、西洋社会の文化的な背景と密接に関わりながら、現在のファッションを成立させている。特に高度な消費社会を迎えた20世紀において、西洋の美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながら、ファッションを文化的な現象として体系的に解説する。

**【授業計画】** 90分/コマ

- 1 授業指針説明  
01 ゴシック 02 ルネサンス 03 グーテンベルグ 04 バロック 05 ロココ
- 2 06 アーツ&クラフツ 07 ジャポニズム 08 ベル・エポック 09 アール・ヌーヴォー
- 3 10 ユーゲント・シュティール 11 ウイーン工房 12 ドイツ工作連盟 13 キュビズム
- 4 14 未来派 15 ロシア・アヴァンギャルド 16 ダダイズム 17 モダニズム
- 5 18 デ・スティール 19 バウハウス 20 アール・デコ 22 インダストリアルデザイン  
(小テスト)
- 6 23 インターナショナル・スタイル 24 ミッドセンチュリー 27 CIデザイン 28 スイス・スタイル
- 7 21 アイソタイプ 25 オーガニックデザイン 26 プロバガンダ 29 オブ・アート
- 8 30 スカンジナビアン・モダン 31 ウルム造形大学 32 ミニマリズム 33 スペースエイジ
- 9 34 ブリコラージュ 35 サイケデリック 36 アーキグラム 37 東京オリンピック1964
- 9 38 ヒプノシス 39 スーパーリアリズム 41 ポストモダニズム 45 メンフィス  
(小テスト)
- 10 42 ノーデザイン 43 ユニバーサルデザイン 44 アフォーダンス 46 サスティナビリティ
- 11 47 エコデザイン 48 トマト 49 ドローグ (アノニマス) 50 クリエイティブ・コモンズ
- 12 51 UI/UXデザイン 52 ソーシャルデザイン 53 コミュニティデザイン  
54 インタラクションデザイン
- 13 55 コミュニケーションデザイン 56 オルタナティブ 57 クオリア 58 ソニフィケーション
- 14 59 フラットデザイン 60 パーソナルファブリケーション 授業まとめ
- 15 試験

**【成績評価方法】**  
 試験50% 課題・小テスト40% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**  
 『絵ときデザイン史』 2015/9/17 石川 マサル (著), フレア (著)  
 『デザインの20世紀 (NHKブックス)』 1992/11 柏木 博 (著)

**【教材・教具】**  
 PC 投影モニター レジューメ

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80 %
時間数	60	作成者	高木 義隆

## 【科目の到達目標】

アパレル商品の基本アイテムのデザインやディテールなどの知識を基にハンガーイラスト、スタイル画を描画。また、素材表現やオリジナルなスタイル画が描ける。

## 【科目の概要】

現在の市場に適した商品デザインのバランスやディテールを解説し描画方法を学ぶ。

## 【授業計画】

90分/コマ

- 1 ファッション・ドローイング基礎—基本的立体と遠近法(復習)
- 2 ファッション・ドローイング基礎—人体の比率 9頭身の書き方 プロポーションアナライズ(復習)
- 3 ハンガーイラストとデザイン画着装—「シャツ・ブラウス」
- 4 ハンガーイラストとデザイン画着装—「スカート」
- 5 ハンガーイラストとデザイン画着装—「パンツ」
- 6 ハンガーイラストとデザイン画着装—「靴(サンダル・ハイヒール・ブーツ)」
- 7 頭部の書き方—頭部のプロポーション(髪型・パーツ)
- 8 スタイル画(S/S全身コーディネート)
- 9 ハンガーイラストとデザイン画着装—「帽子(キャップ・ハット・ヘッドドレス)」
- 10 ハンガーイラストとデザイン画着装—「鞆(トート・ボストン・ハンドバッグ)」
- 11 ハンガーイラストとデザイン画着装—「雑貨・アクセサリ—類(レザーアイテム・金属)」
- 12 スタイル画(トータルコーディネート①)
- 13 スタイル画(トータルコーディネート②)
- 14 デザイン画選手権 ラフ画(案)
- 15 期末試験

## 【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

## 【教科書・参考書】

『スタイリングブック』グラフィック社 その他、ファッション雑誌など  
『ファッションデザインテクニック』高村是州 グラフフィック社

## 【教材・教具】

筆記用具 ケント紙 クロッキー帳 描画用具(ペン マーカー 絵の具 色鉛筆 ガッシュ パステル )

科目名	海外研修II	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期末 8日間
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	リサーチ50% 講義50%
時間数	60	作成者	高木義隆

**【科目の到達目標】**  
 研修先に赴き、現地の言語での講義を受講し、マーケティングやマーチャライジング等の知識を得る。  
 帰国後、現地の市場をリサーチした内容をプレゼンテーション発表する。

**【科目の概要】**  
 学校の授業で得たビジネス及びマーケティング等の知識と、英会話を基に現地の市場を視察、調査する。  
 更に世界のトップブランドの生産工場見学で、川上から川下までの全体像を観る。  
 また、海外のファッション都市の文化的背景やファッション市場の知見を広め、今後のビジネス展開に生かす。

**【授業計画】** 90分/コマ

- 1 研修施設での講義受講 (装飾美術館・現地ファッションスクールでの授業)
- 2 研修施設での講義受講 (現地ファッションスクールでの授業) グッチミュージアム鑑賞
- 3 研修施設での (現地ファッションスクールでプレゼンテーション) 市街地リサーチ
- 4 研修先 (クラッチバッグの生産工場見学・現地ファッションスクールの視察) 市街地リサーチ
- 5 研修先 (ウフィツィ美術館鑑賞) 施設リサーチ
- 6 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 7 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 8 発表 (海外研修報告会)

**【成績評価方法】**  
 研修後のリサーチ課題発表 100%

**【教科書・参考書】**

**【教材・教具】**  
 筆記用具 カメラ コンピュータなど